

HARLEY-DAVIDSON Custom FREEDOM X SPORTSTER

文：田中宏亮 写真：真弓剛史

With SURE SHOT

既存概念にとらわれることなく、理想のシルエットを突き詰めた走り屋のハーレーダビッドソンがここに生まれた。ストリートシーンに映える渾身の一台だ。



シュアショット

住所：千葉県八街市八街
〒199-1123

電話番号：043-312-0900

営業時間：11:00～20:00

定休日：毎週木曜日

<http://www.sureshot.jp/>

戦闘的なシルエットの
カフェスポーツへ進化



◆今回新開発というシートカウルに合う専用シートを手がけたのは、シユアショット御用達のレザー工房「ウォキニ」。ほど良い硬さで姿勢をホールドする。



◆ワンオフのファンネルを備えたミックニ製HSRキャブレターを採用。ハーレー専用として開発されたアイテムでマシンの性能を限界まで引き出すことが狙いだ。



◆ワンオフのトリプルツリーによってホンダCBR900RRの正立フォークを組み込み、キルドデザイン製汎用セラコートハンドルを備えてカフェレーサーのポジションを実現。

◆スポーツスター用としてはハイエンドの部類に入るオーリングス製リザーバ付きリヤサスペンションをチョイス。さらにロングエンドアイでシート高を高めている。



◆抜群の耐熱性を誇るセラコート加工が施されたワンオフのメガホンマフラー。車体のアンダーマウントはそのままに、今一度ブラッシュアップを検討するとのこと。



◆バイクの表情をより攻撃的にするロケットカウル。本来は無垢なカーボン製パーツなのだが、イエローのヘッドライトレンズがその拙々しさを引き立てている。

◆エアブレンキャップを備えたカフェスタイルのカーボン製フェューエルタンク。スポーツスターのイメージを大きく覆すレーシーなシルエットを描く逸品だ。



◆タンクやサイドカバーとともにキット化されるシートカウルは、これまでのハーレーでは見たことがない独特の形状に。シート裏には小物入れスペースも。



◆本来ベルトドライブ仕様のところをチェーンドライブ化し、走行性能をワンランク上へと引き上げた。ホイールサイズも前後18インチという設計に変更。

◆数少ないスポーツスター用バックステップの中から選ばれたのは、米ローランドサズ製。ワンオフというヒールプレートとの組み合わせとなっている。



相川拓也さん
サーキット専用のバイクを持ち、そしてカスタムショーにはアワード狙いのレーサーを持ち込む走り系のカスタムビルダー。

黄色い灯火と火花が散る
漆黒のカフェレーサー

そのVツインエンジンを見なければ、これがハーレーだとはすぐに気づけないだろう。それくらい、本来のそれとは大きく異なるシルエットにまとめられたカフェレーサーだ。「七ハバ」とロケットカウルが似合う一台にしたかった。そして攻めた走りも楽しめるマシンにしよう、とこのカスタムスポーツスターを手がけたビルダー相川拓也さんは、自ら手がけたカスタムハーレーとともに何度もサーキットを訪れる走り系ライダーでもある。そのポディメイ、目を見奪われてしまうところだが、パージョアンアップした前後サスペンションに18インチホイール、チェーンドライブ化など、そのフットワークも大膽に高められている。さらに注目すべきは、隠れたそのポディラインだ。ロケットカウルのアンダーからタンク下、シートを経由してリヤへと一直線のラインが引けるデザインとなっている。デザインの統一感というカスタムハーレーのマナーとも言えるエッセンスで、既成概念を飛び越えたシルエットにもハーレーらしさが垣間見える一端でもある。黄色い灯火と火花が闇夜を切り裂く、そんな疾走シーンを思い浮かべずにはいられない一台だ。